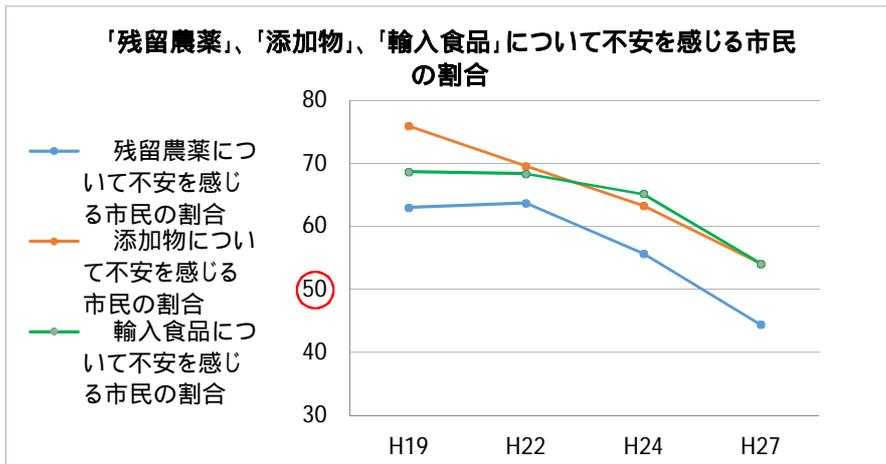
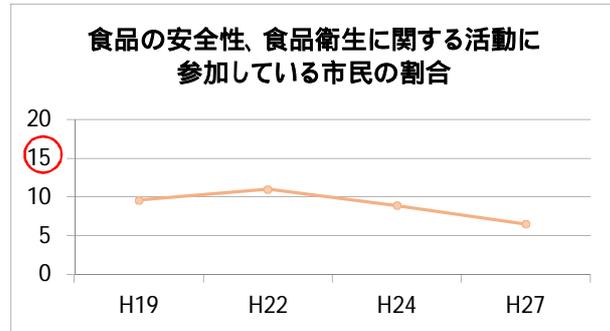
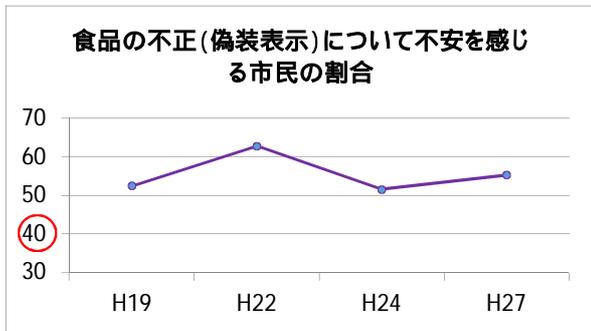


No	項目	H19	H22	H24	H27	目標
	残留農薬について不安を感じる市民の割合	63	63.7	55.7	44.4	50
	添加物について不安を感じる市民の割合	76	69.6	63.3	54.1	50
	輸入食品について不安を感じる市民の割合	68.7	68.4	65.2	54.1	50

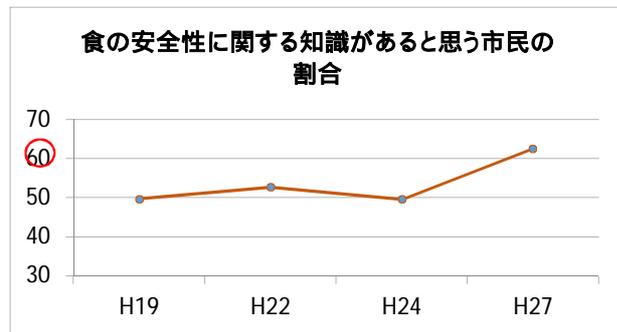
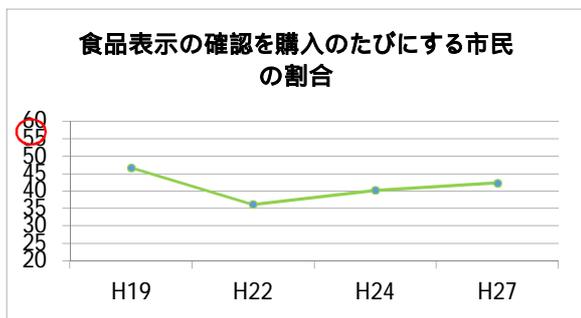


No	項目	H19	H22	H24	H27	目標
	食品の不正（偽装表示）について不安を感じる市民の割合	52.5	62.8	51.6	55.3	40



No	項目	H19	H22	H24	H27	目標
	食品の安全性、食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	9.6	11	8.9	6.5	15

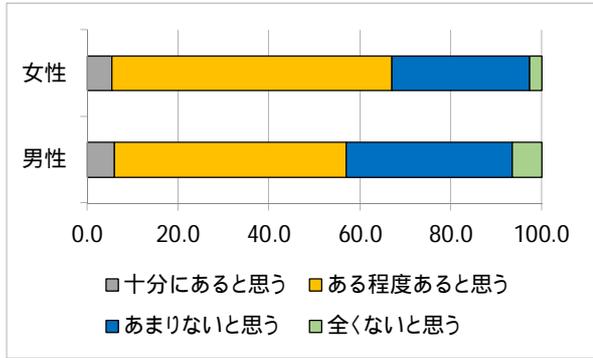
No	項目	H19	H22	H24	H27	目標
	食品表示の確認を購入のたびに市民の割合	46.7	36.2	40.2	42.3	55



No	項目	H19	H22	H24	H27	目標
	食の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.7	52.7	49.6	62.6	60

食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合（クロス集計）

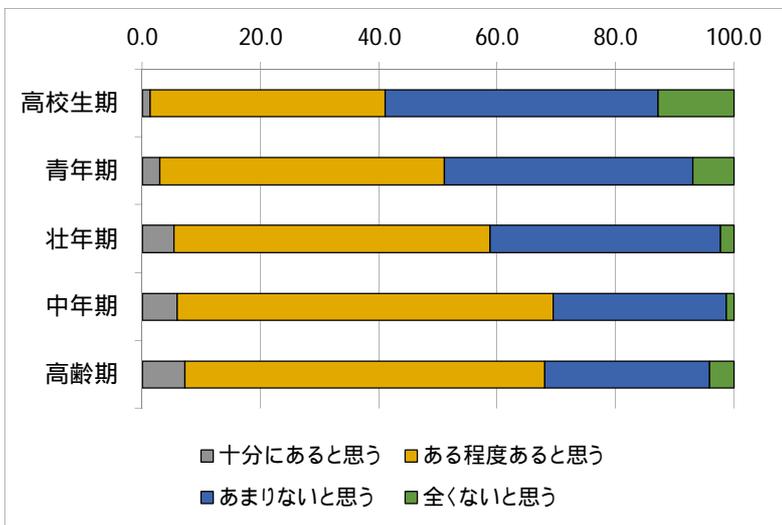
性別



	合計 (%)	食品の安全性に関する知識があるか			
		十分にあると思う	ある程度あると思う	あまりないと思う	全くないと思う
全体	100.0	5.7	56.9	33.1	4.3
男性	100.0	5.9	50.9	36.7	6.5
女性	100.0	5.4	61.5	30.4	2.7

ライフステージ別

	合計 (%)	食品の安全性に関する知識があるか			
		十分にあると思う	ある程度あると思う	あまりないと思う	全くないと思う
全体	100.0	5.7	56.9	33.1	4.3
高校生期	100.0	1.3	39.7	46.2	12.8
青年期	100.0	3.0	48.0	42.0	7.0
壮年期	100.0	5.3	53.4	38.9	2.3
中年期	100.0	5.9	63.5	29.3	1.4
高齢期	100.0	7.2	60.7	27.9	4.2



<「十分にあると思う」「ある程度あると思う」の合算>

- 高校生 ; 41%
- 青年期 ; 51%
- 壮年期 ; 58.7%
- 中年期 ; 69.4%
- 高齢期 ; 67.9%